

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2023年度)

施策コード	14
-------	----

まちづくりの方針	1 保健・医療・福祉
施策	4 国民健康保険・福祉医療・国民年金
施策のめざす姿	各種の社会保障制度が適切に運用され、誰もが安心して生活しています。そして、すべての市民が、健康維持を意識した生活を送り、健康に暮らしています。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
国民健康保険税収納率(現年度分)(%)【保険年金課】	92.4	92.6	92.0				94.5	95.0
国民健康保険加入者の特定健康診査受診率(%)【保険年金課】	42.1	45.6	—(※)				49.0	54.0
(※)2022年度の特定健康診査受診率(法定報告値)は2023年11月に確定予定								

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向
1 国民健康保険制度の健全化	保険年金課	国民健康保険賦課収納事業では、国保税現年度分収納率は92.0%で目標値を達成できなかった。 新規加入世帯への原則口座振替の周知やページーを利用した口座振替の勧奨及び既存世帯への郵送による口座振替勧奨通知の送付を引き続き実施し、口座振替率を上昇させる。
2 後期高齢者医療制度の健全化	保険年金課	後期高齢者医療保険の現年度分収納率は99.66%で目標値の99.72%は達成できず、前年度比で0.02ポイントの減となった。 新規年齢到達加入者者宛て口座振替依頼書の送付や窓口でのページーを利用した口座振替勧奨を引き続き実施し、口座振替率を上昇させる。また、初期末納者への電話や訪問による徴収活動を実施し、滞納者の減少に努める。
3 健康づくりの支援【重点】	保険年金課	○高齢者102人に対し個別の支援の実施や、通いの場等における健康教室・健康相談を258人に対して実施し、そのうち、医療・介護サービス等が必要な13人に対し、全員の方を医療・介護サービス等へ繋ぐことができた。 ○特定健康診査受診率(実績値)は43.1%で、新型コロナウイルス感染症の拡大時期と重なり、前年度比で0.5ポイントの減となったが、受診者タイプによる7種類のものがき動奨を実施したことにより大幅な低下を防ぐことができた。特定保健指導についても、初回面接利用率が17.5%で、前年度比で2.0ポイントの減となった。 ○健康課題を抱える高齢者に対し、必要に応じて医療・介護サービス等へつなげる支援や、高齢者の生活拠点等において、フレイル予防の普及啓発・健康教育・保健指導等を引き続き実施していく。 ○特定健診、特定保健指導ともに、新規受診者の確保と既受診者が受診を中断しないよう引き続きはがきによる受診勧奨を実施していく。
4 福祉医療の充実【重点】	保険年金課	○市単独分の子ども医療費支給事業では、小学生から中学生までの子どもの通院費や、令和4年10月診療分から16歳から18歳年度末までの子どもに対し所得制限等を廃止し入通院費における保険診療の自己負担分について、平均受給対象者4,456人に対して助成を実施した。 ○小児慢性特定疾病医療費支給事業では、小児慢性特定疾病やそれ以外の医療費に係る保険診療の自己負担分について、11人に対して助成を実施した。 ○医療費について正確で迅速な支給をする。 ○新規対象者に対し事業の周知と継続的な事業の実施及び医療費について正確で迅速な支給をする。
5 国民年金制度の周知	保険年金課	市政のひろば、市のホームページ、チラシの配布等で周知をした。 国民年金事務について、年金事務所との協力・連携を密にし年金制度全般について、市民への周知を行う。

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	各種の社会保障制度が適切に運用され、誰もが安心して生活できるよう、制度の充実に努めた。	評価
			B
	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	将来の姿の達成に向けては、目標に向かい適切に事業を進め、誰もが安心して生活し、そして、すべての市民が、健康維持を意識した生活を送り、健康に暮らしていけるように努める。	方針
			継続